

「豊かな人と財政のまちづくり」プラン具体策進捗管理シート

重点項目		2. 健全な行財政運営						
実施項目		A. 計画的な行財政運営						
		財政健全化計画の見直しと予算編成への反映						
具体策	取り組み内容	実施時期					効果額集計(万円)	担当課
		効果額(万円)						
		H22	H23	H24	H25	H26		
財政健全化計画の見直し	予算編成時における収支不足を財政調整基金の取り崩しに依存しない健全な財政計画を策定する						78000	財務課
22年度変更								
変更理由								
健全財政への取り組み	収入の確実な徴収の推進 新たな歳入(有料広告など)の検証及び拡大の検討 補助金、助成金の積極的な活用の徹底 職員のコスト意識にあつては、予算要求時はもとより執行時においても効率化の意識を高め、より一層の歳出の最適化を図る						-	財務課
22年度変更								
変更理由								
数値目標(H26年度末)	平成26年度末の財政調整基金の残高について、平成21年度末残高12億円を維持する。							
重視する指標	財政調整基金残高							
改革のポイント(効果)	職員のコスト意識を高め、税収を確保し、有料広告を中心とした新たな歳入の拡充に努めるとともに、予算計上していない補助金・助成金について積極的に活用し、財政調整基金の取り崩しに頼らない財政運営とする。							

取り組み内容 (PLAN)			
予算編成時における収支不足を財政調整基金の取り崩しに依存しない健全な財政計画を策定する			
<p>収入の確実な徴収の推進 新たな歳入(有料広告など)の検証及び拡大の検討 補助金、助成金の積極的な活用の徹底 職員のコスト意識にあつては、予算要求時はもとより執行時においても効率化の意識を高め、より一層の歳出の最適化を図る</p>			
実施状況・効果・評価 (DO・CHECK)			
実施状況	平成22年度においては、首長の交代のため、町の方針である今後の主要事業の見込を立てることが困難となり、結果として財政健全化計画の見直しには着手できなかった。		
	<p>自主財源については、前年度の徴収率を下回らない目標を掲げて徴収事務を徹底しているところである。 新たな有料広告については、公用車やふれあいバスを媒体とした募集を実施して拡大に取り組んでいる。 助成金、補助金の積極的な活用については、対象範囲の広い助成金等の募集があれば、新着情報(庁内掲示板)を利用して情報を共有し、積極的に活用するよう周知するとともに、対象となりうる事業があれば、個別に申請を促している。 コスト意識については、コピー代や電気代などについて、新着情報(庁内掲示板)を利用して削減を促し、日常的に意識をもってもらうよう取り組んでいる。</p>		
効果	<p>財政健全化計画は見直しを実施していないため、直接的な効果はないが、の取り組みをはじめとした取り組みにもあり、平成21年度に算出した財政シミュレーションでは平成22年度財政調整基金取崩額は150,000千円とみていたものの、実際の決算見込においては0千円となる見込である。 新たな有料広告については、上記の取り組みにより、400千円の収入がある見込である。また、補助金については、大淀中学校大規模改修事業の事業内容が国の補正予算で補助対象となったこと等から、事業を前倒して実施することにより、約71,638千円の財源を確保することができ、大きな成果があったといえる。</p>		
効果額	222,038千円		
算出根拠(式等)	<p>平成21年度に算出した財政シミュレーションと実際の決算見込における平成22年度財政調整基金取崩額の差異150,000千円 新たな有料広告収入(公用車)400千円、新たな補助金の獲得(大淀中学校大規模改造事業71,638千円)</p>		
課題と今後の対策	<p>補助金、助成金については、対象となる事業があるかどうか、採択されるかどうかが見通せないこともあり、次年度以降も継続的な効果が期待できるわけではないが、財政調整基金を取り崩さずに決算できるよう、次年度以降もの取り組みを実施していく。また、本来の目的どおり財政健全化計画を見直し予算編成に反映できるよう、次年度においてはスケジュールどおりに実施できるように進めていく。</p>		
内部評価(担当課)	スケジュールの進捗度	70 %	
	指標に対する達成度	100 %	
	総合評価(内部)ABCDE	B	当初の計画通りすすみ効果が出ている
外部評価(推進委員)	<p>財政の健全化は最も重要なことであり、町税徴収率の向上・公用車への有料広告・ふるさと寄付などの継続により、更なる自主財源の確保に努めること。また、確保した財源について、医療や福祉など必要な部分に充てるよう努めること。</p>		
内部評価・外部評価を受けた見直し・改善 (ACTION)			
今後も財政健全化の取り組みを継続・推進し、その結果生じた財源については、本プランの基本方針に基づき、選択した重点施策に集中的に充当していくように努めていきたい。			

取り組み内容 (PLAN)	
予算編成時における収支不足を財政調整基金の取り崩しに依存しない健全な財政計画を策定する	
<p>収入の確実な徴収の推進 新たな歳入(有料広告など)の検証及び拡大の検討 補助金、助成金の積極的な活用の徹底 職員のコスト意識にあつては、予算要求時はもとより執行時においても効率化の意識を高め、より一層の歳出の最適化を図る</p>	

「豊かな人と財政のまちづくり」プラン具体策進捗管理シート

重点項目		2. 健全な行財政運営						
実施項目	B.事業の民間委託							
	行政の守備範囲を見直しながら、民間でできるものは民間に委ねることを基本に、外部資源を活用することで、限られた財源や人的資源を行政が行うべき分野に集中させることにより、住民サービスの向上を図る。							
具体策	取り組み内容	実施時期					効果額 集計 (万円)	担当課
		効果額(万円)						
		H22	H23	H24	H25	H26		
業務マニュアルの作成	個々の業務の分析(業務マニュアルの作成)により実施できない業務を選択する	→	→				-	総務課
		検討	実施	H23年人事異動に向けマニュアルを作成				
22年度変更								
変更理由								
委託業務の検討 (行政評価の結果を活用)	対象業務をリストアップし指定管理者制度も視野に入れた委託化の導入・拡大により行政のスリム化を図る	→	→	→	→	→	-	総務課
		検討	委託化の推進					
民間委託の実施	民間活力の導入により、効果的・効率的なサービスを実現し、公共サービスのコスト削減と質の向上を目指す。						-	総務課
22年度変更								
変更理由								
数値目標 (H26年度末)	調査後決定するので記入不可能							
重視する指標	委託移行業務数(単位:業務)							
改革のポイント (効果)	財政部門との連携により、公共サービスの公的関与の妥当性について、「行政で行うべきもの」と「そうでないもの」をしっかりと見極め、実施主体のあり方やサービス水準に見合った受益者負担のあり方などの基本的な枠組みを整理のうえで、行政の効率的な運営に努め、地域資源・経営資源の有効活用を図る。							

取り組み内容(PLAN)			
個々の業務の分析(業務マニュアルの作成)により実施できない業務を選択する			
対象業務をリストアップし指定管理者制度も視野に入れた委託化の導入・拡大により行政のスリム化を図る			
民間活力の導入により、効果的・効率的なサービスを実現し、公共サービスのコスト削減と質の向上を目指す。			
実施状況・効果・評価(DO・CHECK)			
実施状況	平成23年度人事異動に向け、スムーズな業務移行が出来るようマニュアルを作成した。【現在作成中】		
	平成23年度組織改革に向け、ヒアリングを実施するなかで民間委託可能業務の有無を聞き取りを実施した。		
	可能業務から試算を行い移行していく。		
効果	特定分野であったが、「民間委託推進計画」の概念に基づく業務の移行ができた。		
効果額	**,***千円		
算出根拠(式等)			
課題と今後の対策	今回は、組織改革の視点より民間委託可能業務の選定を行ったが、今後は行政評価の視点を盛り込んだより統括的な管理システムが必要。		
内部評価(担当課)	スケジュールの進捗度	100	%
	指標に対する達成度	100	%
	総合評価(内部)ABCDE	A	当初の計画通りすすみ十分な効果が出ている
外部評価(推進委員)	住民サービスの向上を第一として、コスト削減・業務の効率性をポイントに民間委託の推進を図ること。		
内部評価・外部評価を受けた見直し・改善(ACTION)			
「経費の抑制」と「業務の効率性」をポイントに業務の実施主体の検討を進め、民間委託化が住民サービスの低下にならないよう継続的な検証を図っていく。			

取り組み内容(PLAN)	
平成23年度	継続的な実施
	行政評価と連動した可能業務の洗い出し